

vol. 33
2015 夏

WASEDA University Extension Center
Communication Magazine

早稲田の杜

春学期の講座より

英語で語る戦後の日本
(Contemporary Japanese History)
-現代日本を英語で紐解く-
James M. Vardaman先生



フランスの歴史と文化
-フランス文化の歴史をたどる(前)-
小林 茂先生

目次

02 オープンカレッジ友の店のご紹介

～早稲田校編～

04 「知の開拓」

講師インタビュー 中島 国彦先生
受講生インタビュー 佐々木 行さん

06 海外プログラム

07 トラベルスタディ

08 ワセモリギャラリー
インフォメーション

オープンカレッジ友の店のご紹介

～早稲田校編～



認定ステッカー

オープンカレッジ会員特典の一つ「オープンカレッジ友の店」をご存じでしょうか。

早稲田大学エクステンションセンター各校の近隣にある商店街のご協力により、

店舗ごとに設定されている各種サービスを受けることができます。

サービスをご利用の際は、各店舗にてオープンカレッジ会員証をご提示ください。

通学途中でのお買いものやご飲食、ご学友との会合等の際にぜひご利用ください。

今回は、早稲田校周辺の「オープンカレッジ友の店」をご紹介いたします。



食べる



買う



遊ぶ



見る



その他

高田牧舎



優待内容

パーティーご利用10名様につき
ワイン1本サービス
住所 戸塚町1-101
TEL 03-3202-2376

鉄板焼 餃子酒家 磨み土



優待内容

飲み物一杯サービス
住所 早稲田鶴巻町538
TEL 03-3209-3616

イタリア料理 イル・デ・パン



優待内容

貸切りパーティー（20名様以上）で
お一人様無料
住所 早稲田鶴巻町537 メゾン三晃1F
TEL 03-3203-8191

炭火串焼 ちくりんぼう



優待内容

17:30以降のご来店で
乾杯ビール一杯サービス
住所 早稲田鶴巻町111
ワセダ福田マンション1F
TEL 03-3202-9557

卵料理 3つのオレンジへの恋



優待内容

パーティー（10名様以上）ご予約で
ワイン1本サービス
住所 戸塚町1-102-101
TEL 03-3209-3151

グラッソ



優待内容

定食に自家製ミニメンチサービス
住所 戸塚町1-101-8
TEL 03-5285-0009

カフェ フェニックス



優待内容

- ① 大テーブル（10～15名）ご予約で
オリジナルポテトチップス一皿サービス
 - ② パーティー（20名様以上）で
お一人様無料
- 住所 馬場下町18 フェニックスビルM1F
TEL 03-3202-6846

うなぎ すゞ金



優待内容

うな重100円割引
住所 馬場下町61
TEL 03-3203-5936

三和クリーニング



優待内容

- ① ドライクリーニング2割引
 - ② 午前中お預かり夕方仕上がりサービス
- 住所 馬場下町62
TEL 03-3203-7857

交流サロン ラウンジ Hello



優待内容

- ① サークル入会金(1,000円)無料
 - ② 貸切料金10%割引
- 住所 西早稲田1-4-14
カーサベーラ201
TEL 03-3207-5074

沖縄食堂



優待内容

- 食後にシークヮーサーをサービス
住所 西早稲田1-8-18
TEL 03-3208-4516

キッチン ブン



優待内容

- 50円割引
住所 西早稲田1-8-20
TEL 03-3202-4786

レストラン あらら・からら



優待内容

- パーティーご利用10名様につき
ワイン1本サービス
住所 西早稲田1-9-6
TEL 03-5272-5949

カフェ QUNE



優待内容

- 食事・デザートをご注文で
コーヒーまたは紅茶サービス
住所 戸塚町1-101-2
TEL 03-3205-8612



印刷ショップ コーエー



優待内容

- 一般印刷物5%割引
(コピー、写真現像は除く)
住所 西早稲田3-1-6
TEL 03-3202-6476

麻雀No.1



優待内容

- 1日において3時間分は学割
住所 西早稲田1-9-10-202
TEL 03-3208-2798

古本 ブックス ルネッサンス



優待内容

- 500円以上お買い上げで粗品サービス
住所 西早稲田1-1-9
TEL 03-5272-0544

「オープンカレッジ友の店」ではありませんが、優待があります！

リーガロイヤルホテル東京



優待内容

- ホテル館内レストラン、バー、
ラウンジ5%割引
住所 戸塚町1-104-19
TEL 03-5285-1121
URL
<http://www.rihga.co.jp/tokyo>



映画館「早稲田松竹」



優待内容

- 学生料金で入場
住所 高田馬場1-5-16
TEL 03-3200-8968
URL
<http://www.wasedashochiku.co.jp>



オープンカレッジ友の店は、
エクステンションセンターホームページでもご紹介しています。



<http://ex-waseda.jp/>

ひとつの「学び」から得た発見が、知の世界を広げてくれる出発点となります。

どのように学びを広げていくか、教える人と学ぶ人、

それぞれの学門分野について学びの出発点とこれまでをお聞きし、

そのヒントを探してみました。

授業風景



ちのかいたく

「知」の開拓

教える人
中島 国彦先生

担当講座

「明治・大正・昭和文学の面白さ」

「文学作品にみる武蔵野」

「吾輩は猫である」解説
(eラーニング講座)など

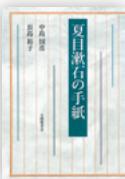
“ しまじまな補助線から、
文学作品を立体的に見つめる ”

プロフィール

早稲田大学文学学術院教授。1946年東京生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了、博士（文学）。専門は日本近代文学。公益財団法人日本近代文学館専務理事。第二文学部学部長、エクステンションセンター所長も勤める。著書は、『近代文学にみる感受性』（筑摩書房、やまなし文学賞）など。岩波書店版『白秋全集』『荷風全集』編集委員。

中島先生の 学びの提言

著書紹介



「夏目漱石の手紙」
中島国彦、
長島裕子 共著
大修館書店 発行

読むたびに新鮮な発見のある漱石作品。残された多くの手紙も、人と人のつながりを大切にした漱石を知る、格好の手がかりです。

おすすめ図書～私の本棚から～



「日本唱歌集」
堀内敬三、
井上武士 共編
岩波書店 出版

明治から昭和にかけて歌い継がれてきた、なつかしい「唱歌」の数々。日本人の感性を育ててきた歌を、楽譜つきの1冊を広げ、歌ってみませんか。

「自分を見つめる手がかりになるもの」。中島先生は近代文学の魅力をそう表現します。特に先生がメインで研究している明治・大正期は、鎌国体制から一転、外国の文化が流入した激動の時代。「変容する世の中をどのように捉え、自らはどう生きるべきか。作品に息づく文学者たちの葛藤は、グローバル化が進む現代に生きる私たちにとって切実であり、共感の対象となるものです」。

こうした視点で文学を読み解くため、先生の講座では活字を追うだけでなく、学者の生活体験にまで視野を広げることに重きが置かれています。例えば、彼らが愛した絵画や音楽、生きた場所、目にした風景はどんなものだったのか。さまざまな補助線から作品を立体的に見つめます。そこには

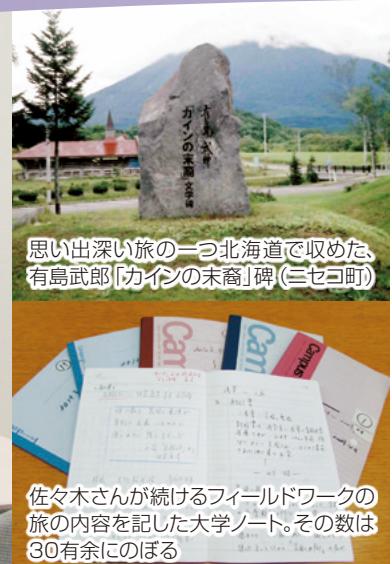
「文学」者の感受性に対する理解を深めたい」との思いが込められています。また、先生は2004年から06年までエクステンションセンターの所長を務めた経歴の持ち主。受講生の皆さんのが意欲、求める知的レベルが高いことを、当時から強く感じたといいます。「その分、教える側には、常に勉強して、皆さんのが要望にきちんと応える姿勢が求められる」と先生は表情を引き締めます。実際、ご自身でも講座の内容を毎年変えることはもちろん、同じ作品は紹介しないなど新しい視点の提供を心がけているのだとか。

特に今年度力を入れていているのが、文学と芸術の関係性。春期講座では音楽にフォーカスし、小学唱歌が文学に与えた影響を考証するといったこと

にも取り組んできました。受講生からは、「自分たちが親しんだ唱歌と文學がつながっていることに、新鮮な驚きを感じた」という感想が寄せられるなど、評判も上々です。「皆さんのが意欲、求める知的レベルが高いことを、当時から強く感じたといいます。「その分、教える側には、常に勉強して、皆さんのが要望にきちんと応える姿勢が求められる」と先生は表情を引き締めます。実際、ご自身でも講座の内容を毎年変えることはもちろん、同じ作品は紹介しないなど新しい視点の提供を心がけているのだとか。

今後の抱負について尋ねると、「これからも、一人でも多くの方に驚きと発見を感じていただけたらうれしい」との言葉が。続けて、先生はこう話されました。「幸い私の引き出しにはまだ、材料が豊富にあります（笑）。特に明治・大正期には、広く知られてないものの、良質な作品はたくさん存在する。そういうものを掘り起こし、紹介していくつもりです」。

“文学は肉体労働でもある。――。 学びを支えるバイタリティ”



思い出深い旅の一つ北海道で収めた、
有島武郎「カインの末裔」碑(三セコ町)

佐々木さんが続けるフィールドワークの
旅の内容を記した大学ノート。その数は
30余年にのぼる



「新発見・再発見をいつも楽しみにしています」と語る佐々木さん

学ぶ人 佐々木 行さん (1990年入会)

受講講座
「明治・大正・昭和文学の面白さ、
『東京一川・人・文学』」

佐々木さんの 学びの履歴書

●受講科目 (☆は中島先生の講座)

2013年 明治・大正文学の面白さ、
『日和下駄』『青年』
『東京景物詩及その他』☆

大正文学の面白さ、
『みみずのたはこと』
『桜の実の熟する時』
『黒髪』☆

文芸よもやまばなし
-シアトルとサンフランシスコ-

近代文藝の百年
-近代文学と北陸・東海-

映画の中の東京

2014年 昭和文学(戦前)の面白さ、
「美しい村」
「夜明け前・第一部」☆

東京一川・人・文学-

昭和文学(戦後)の面白さ、
『斜陽』『獵銃』『闘牛』
『青梅雨』ほか ☆

映画の中の東京

2015年 明治・大正・昭和文学の
面白さ ☆

東京一川・人・文学-

習に裏付けられた知識の広さと深さ、そして熱心に学ばれる姿勢には、こちらも刺激を受けています。中島先生にそう評されるのは、入会から20年目を迎えた佐々木さんです。仕事の忙しさが一段落した50代後半、時間を有意義に使いたいと入会。幼少期より興味のあった文学を中心、歴史や地理、芸術などの講座を受講されてきました。2011年度には150単位を取得した方に贈られる紺碧賞を受賞しています。

ご本人に話を伺つてまず驚かされるのが、そのバイタリティ。文学にゆかりのある地を巡るフィールドワークの旅を20年以上も続けているといいます。「文学は地理や歴史、芸術といったあらゆる要素がつまつた総合的な学問。特に旅では、いつ、どこで、

誰が、何をしたのかといった、歴史や地理などの情報を補完することができます。活字からは読み取れない物語として、作品への理解が深まります」。しかも、現地までの主要な交通手段は青春18切符というのが佐々木さんは徹底的に歩き回るのだと。「文学とは肉体労働でもあると思っているんですよ」。つっこり笑つてそう語る佐々木さんの言葉は、ユニークながら強い説得力が含まれています。「また、一見接点のない人物やテーマが思ひぬところでつながっていることもあります。そういう新発見は旅、そして学びの醍醐味です」と佐々木さんは語ります。

佐々木さんの学びに、深みを与えてるのが中島先生の授業です。かれこれ10年以上も先生の講座を受講しており、「文学を立体的に捉える先生の姿勢に共感しています。講座で取り上げるテーマの補足情報をまとめた資料を用意してくださるのも、いいですね」と語ります。

エクステンションセンターに通つて20年。多くのことを吸収されてきた佐々木さんですが、飽くなき探究心は変わらず健在です。「講座は未だ知のことだけでなく、既知のことでも抜け落ちていた情報や、別の見方があることを知るきっかけになります。そんな新発見・再発見こそ学びの醍醐味。可能な限り通り続けるつもりです」。佐々木さんは、そう言葉を結びました。

世界で学ぶ生涯学習・自分と出会う旅

シニア向け第8期オックスフォード海外プログラム 2016年3月中旬実施予定

オックスフォード大学留学プログラムは、シニアの方(40歳代以上)を対象とした、
英語学習・イギリス文化体験プログラムです。歴史ある学都での語学学習や海外生活体験などに、
皆様のご参加をお待ちしています！

第7期オックスフォード大学留学プログラム参加レポート

留学プログラム

(2015年3月16日～3月30日)

に参加して

那須徳造さん(2008年入会)

昨年来、楽しみにしていたオックスフォード大学海外プログラムに参加が叶い、夢のような2週間を過ごすことができました。関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今回私は積極的に英語を使うこと、英國文化にできるだけ触れることが、英國英語と他の英語の差異を確認することの3点を目的として参加しました。これらの目的達成が容易ではないことは十分覚悟をしていましたが、自分なりの成果を持ち帰ることができたと思い、満足しています。

週末や夕食前の空いた時間に一人であちこち歩き回り、美術館・博物館や商店の人との会話を楽しみました。連夜のスタイルの異なるパブ探訪は、英國階級社会の一端を印象付けてくれました。

また、私が今までビジネスで接してきた米国や東南アジアの英語は、本家の英國英語とはかなり異なると言わざいますが、英国资との接点をほとんど持たなかつたためにその違いの程度が理解できませんでした。結論から申せば、「私のような日本語訛りの稚拙

な英語でも、英国人とのコミュニケーションに大きなツールとなり得る。

よって、外国人との英語による会話には、今迄の勉強を今後とも続けて行くことに大きな問題はない」との考えを持ちました。加えて、今回私が接した

英國人の英語は、単語の用法や発音の明瞭さ等において、他地域で使用されている英語に比べて理解し易く、英語に触れる楽しさを発見できた事は大きな収穫でした。

寮での生活も、シャワールーム付き個室は2週間を十分快適に過ごさせてくれました。食事もとてもおいしく、質・量ともに楽しめたのは幸いでした。

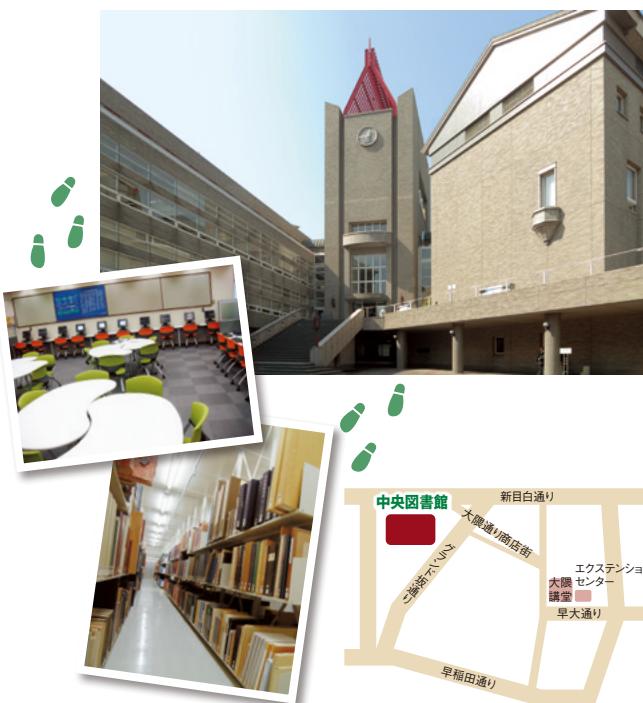
この充実した経験を「ゴールではなく、これから」の英語・英國文化学習の一里塚と位置づけ、次のステップに向けて行きたいと思っています。

期間中、同行された森田教授に多方面でアドバイスをいただきました。教授のご指導により講義の内容や現地の風物の理解に深さを増すことができましたこと、心より感謝申し上げます。

国内でも最大級の大学図書館、中央図書館は地上4階地下2階建、蔵書数は270万冊を誇ります。オープンカレッジ会員の方は、中央図書館館内での図書閲覧・複写をご利用いただけます。(館外貸出はできません)
※ご利用には入館カード(発行当日限り有効が必要となりますので、中央図書館入口カウンターにてオープンカレッジ会員証(写真貼付必須)をご提示ください。

早稲田の杜を
歩く...

早稲田校 中央図書館



八丁堀校 京華スクエア

八丁堀校が入る京華スクエアは昭和初期の建築で、京華小学校の面影を残して改修された建物です。印象的な半円形のラウンジ、ゆったりとした廊下など、開放感のある作りとなっています。都心の八丁堀駅からすぐの便利な立地で、昭和モダンを感じながら学んでみませんか。



教室から飛び出そう!

トラベルスタディ

トラベルスタディは、オープンカレッジの学習をもとに、

学習効果をさらに高めることを目的として

旅行会社が主催する研修ツアーです。

学びのフィールドを広げて現地で実際に見聞する、

教室での講義とはまた違った学びを体験してみませんか！

トラベルスタディ 参加レポート

「多様性が生み出したスペイン音楽
～そのルーツと魅力を訪ねて～（2015年2月5日～2月14日）」

に参加して

宮田 宗雄さん（1998年入会）

米田かおり先生の講座「都市と音楽の歴史」は今年で18年目を迎えました。昨年1年間の講座のテーマがスペインということで、2月5日から10日間、総勢12名でマドリード、セゴビア、アランフェス、トレド、バルセロナ、モンセラットなどスペインで音楽史的に重要な場所を訪ねました。繁荣と衰退が繰り返された長い歴史の中、音楽のみならず絵画や建築など異文化が織りなす独特的芸術が育まれ、花開いていったことを肌で感じることができました。カタルーニャ音楽堂や楽器博物館の見学、モンセラット修道院での少年聖歌隊の合唱、リセウ劇場でのオペラやフラメンコの鑑賞など貴重な体験をしました。



中野校 和室

2014年4月にオープンした中野校には和室もあります。2015年春講座ではこの和室を利用する「初めての茶道・講義と体験」を開講しました。和室内には早稲田を感じる小さな「W」の棚細工も！ 中野校の講座でぜひ最新施設のオープンカレッジをご体験ください。



受講生の作品をご紹介いたします。

今回は、「中国書道史と条幅実作・発表」(綾部光洲先生)、
「木版画を作つて楽しむ」(伊藤卓美先生)講座を受講された方々の作品を取り上げました。

ワセモリギャラリー

木版画を作つて楽しむ



「出羽・亀岡文殊堂」
豊野 耕作さん(1991年入会)



「15年度カレンダー」
片倉 啓之さん(2012年入会)

中国書道史と条幅実作・発表



「静夜思」(李白)
小路口 睦子さん(2010年入会)



「光洲先生の即興起句を示すに酬ふ」
田辺 武夫さん(1984年入会)

INFORMATION

エクステンションセンターからのお知らせです。

● 秋の展覧会のご案内(予定)

オープンカレッジ受講生の作品展を下記のとおり開催いたします。ワセダギャラリーでの開催に加え、今秋は中野校でも初開催。ぜひ、足をお運びください。

早稲田校 ワセダギャラリー (27号館小野梓記念館地下1階)

- 2015年11月16日～21日
「風景の詩」(南口清二先生)
- 2015年11月24日～12月1日
「ステップアップ写真撮影術」(塩澤秀樹先生)
- 2015年12月4日～11日
「水彩ステップアップ講座」(出口雄大先生)

時間 10:00～17:00(最終日は14:30まで)

中野校 交流ラウンジ

- 2015年10月15日～11月14日
「基礎から学ぶ木版画教室」(伊藤卓美先生)
「たのしい絵手紙」(小川豊子先生)

● フレンドシップ制度について

会員の方より新規の方をご紹介いただくと、ご紹介者には図書カード(1,000円相当)を進呈、新規入会者の方には入会金を減免(8,000円から6,000円)いたします。詳しくは、夏パンフレットP5をご覧ください。

● Webサイトもご活用ください

エクステンションセンターのホームページからオープンカレッジにいつでもアクセス! お知らせや休講・補講情報、イベントのご案内の他に、講座のお申込み、マイページを利用したお申し込み講座の確認などもできます。ぜひご利用ください。

● Facebookにて情報を発信しています

オープンカレッジに関する耳寄りな情報、講師や大学に関わるイベントの情報など、随時更新しております。たくさんの「いいね!」お待ちしています。

Facebookアドレス

<https://www.facebook.com/WasedaU.OPENCOLLEGE>

早稲田の杜

● 本誌へのご意見、ご感想をお待ちしております。下記発行元までお寄せください。

●『早稲田の杜』は当センターホームページでもご覧いただけます。

→ <http://www.ex-waseda.jp/>

早稲田 エクステンション

検索